ユーザーズ ガイド

Ver. 3.0(J)

iAUDIO X5

一般

- iAUDIOはCOWON SYSTEMS, Inc.の登録商標です。
- 本製品は一般消費用であり、営業目的で利用することはできません。
- 本マニュアルの著作権は、COWON SYSTEMS, Inc.が全ての著作権を所持して
  おり、本マニュアルの一部または全部を無断で使用することを許可しません。
- JetShell、またはJetAudioのMP3変換機能を利用して作成したMP3ファイルは、個人的な用途ではない商業的な目的やサービスのために使用することはできず、これに反した場合は各国の著作権法に抵触します。
- COWON SYSTEMS, Inc.はレコード、ビデオ、ゲームに関連する法理を遵守します。これ以外、一切の成文化された関係法令を遵守することは、実際のユーザー責任となります。
- 製品をお買い求めにいなられたと同時にユーザー登録(http://www.cowonjapan.com)されることをお勧めします。技術サポート、修理、アップデート情報等、正式ユーザー登録を済まされたユーザーのみの特典を受けることができます。
- 本マニュアルに記載されている各種の例題の原文および図表、写真は製品の改善によって予告なく変更される場合があります。

BBEについて

- iAUDIOはBBE Sound社のライセンスに基づいて生産されています。
- BBE Sound社はUSP4638258、5510752、および5736897に準ずるライセンス権を保持しています。
- BBEおよびBBEシンボルは、BBE Sound社の登録商標です。

ウェブサイトの紹介

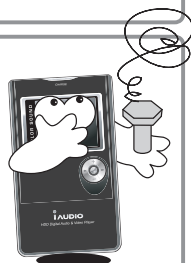
iAUDIOのウェブサイト:http://www.cowonjapan.com (日本語)
弊社の製品、最新のファームウェア、利用できるダウンロードおよびアップグレードに関する最新情報を入手できます。
パッケージに記載されている製品番号と製品の裏面にあるシリアル番号に基づいてユーザー登録すると、技術サポート、修理、
アップデート情報等、正式ユーザー登録を済まされたユーザーのみの特典を受けることができます。

iAUDIO

ユーザーズマニュアルに記載されている事項以外の他の目的で製品を使用しないでください。

梱包箱類、ユーザーズマニュアル、付属品をさわる際には、手を切らないように注意してください。

機器を水に浸したり、長時間湿気のある場所に放置しないでください。浸水による故障として分類された場合は、保証期間内であっても無償修理サービスを受けることは出来ません。また有償でも修理サービスが出来ない場合やまったく使用出来ない場合もあり得ることもあります。

機器を任意で分解または改造すると、無償のサービスを受けることはできず、サービス範囲から除外されます。

USBケーブルをパソコン及び機器に差し込む場合、方向にご注意してください。
USBケーブルを逆に差し込むと、パソコンまたは機器が破損したりする恐れがあります。
USBケーブルを無理に曲げたり、重い物が乗った状態で使用しないようにして下さい。

使用中、機器から焦げるにおいがしたり、熱がひどく発生した場合は、コウォンジャパンサポートセンターにお問い合わせください。

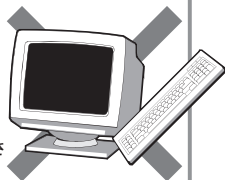
濡れた手で機器を使用すると、誤動作が生じる場合があります。
電源プラグは水気がない乾いた手で持って取り扱って下さい。
（感電の原因になる恐れがあります。）

ボリュームをアップした状態で長時間聴くと、聴力に支障をきたす恐れがあります。

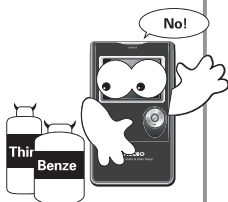
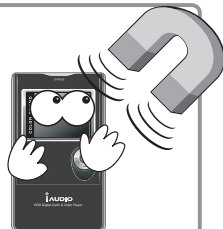
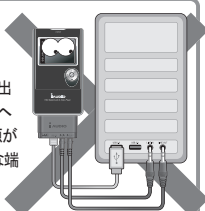
製品を使用する際、静電気の発生が激しい所では誤作動が生じる場合がありますので、ご注意下さい。

重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。本体のアフターサービス時、機器の中に保存したあらゆるデータは削除される場合があります。尚、サポートセンターでは、機器の中に保存されたファイルはバックアップいたしません。
アフターサービス時のデータ消失に関しましては、当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。

AC電源アダプタ及びUSBケーブルは必ず、COWON SYSTEMS, Inc. で提供する部品をお使いください。

パソコンに接続する場合は、必ずメインボード自体ののUSBポートまたは、USBホストカードのUSBポートだけをお使いください。その他一切の外部ハブは絶対に使用しないで下さい。(例:キーボードのUSBポート、外部のUSBハブ・・・)

クレードルまたはサブパックにUSBケーブルを接続した状態で iAUDIOを取り外す場合は、必ずWindows機能にある「ハードウェアの安全な取り外し」、「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」を使用してください。

雷や稲光がする悪天候時には、落雷及び火災の危険がありますので、必ずパソコン本体及びACアダプターの電源コンセントを抜いて下さい。

製品をお手入れする時は、柔らかい素材の乾いた布をお使いください。
(水/洗浄液/ベンジン/洗剤等は絶対に使用しないでください。)

磁石または直接的な磁場の近くに製品を置いたり近づけないください。故障の原因になる場合があります。

クレイドル(サブパック)のライン入出力端子とUSBポートを、同時にPCへ接続しないでください。製品の電源が切れることがあります。必ず必要な端子のみを接続してください。

製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。故障の直接的な原因となり、無償修理サービスを受けることができません。

※この製品は携帯用保存メディアです。重要なデータはバックアップしてください。メーカー側はデータ損失の責任は負いません。

iAUDIO X5とは

iAUDIOはCowon Systems, Inc.社で製造生産するマルチメディアプレーヤーの固有ブランドです。
超小型の携帯用デジタルオーディオプレーヤーで、MP3やWMAファイル等のオーディオフォーマットファイルの再生に対応しています。また、Mpeg4動画再生（JetAudioによるファイル変換が必要）や、静止画(JPEG)を表示できるビューワーも搭載しています。
その他の主だった機能としては、内蔵マイクによるボイスレコーディング、ライン入力端子によるダイレクトレコーディング、FMラジオのリスニングと録音、テキストファイルの表示、OTG（USBホスト機能)機能が挙げられます。

■ 携帯しやすく、スリムでスタイリッシュなデザイン
スリムで携帯性に優れたスタイリッシュなデザインも自慢のひとつです。外装には高品質アルミニウムを採用し高級感ある塗装で仕上げています。（外形寸法：103.7mm x 60.8mm x 14.3mm（LCD除く）/ 外形寸法：103.7mm x 60.8mm x 18.3mm（LCD含む））

■ 大容量ハードディスクを搭載したデジタル・オーディオ・プレーヤー
20GB/30GBの大容量小型ハードディスクを搭載し、約5,000曲/約7,500曲(1曲＝4MB換算)を保存できます。最大で2,000フォルダと10,000ファイルを認識することができます。

■ 長時間再生を実現する内蔵のリチウムバッテリー
強力な保存回路を使用して長時間再生を実現しています。 満充電にすると最大で35時間（X5L）/14時間（X5）の連続再生ができます。（COWON SYSTEMS, Inc. テスト環境基準による）

■ 多彩な音楽フォーマットを強力にサポート
MP3、OGG、WMA、WAVファイル、そしてFLAC(可逆圧縮コーデック)にも対応しています。

■ ビデオの再生
JetAudioを使用することにより、動画ファイルを毎秒15フレームにフォーマット変換し転送できます。転送された動画ファイルは、iAUDIO X5で再生し楽しむことができます。

■ 便利なテキスト＆イメージビューワー
iAUDIO X5では、テキストファイルと画像ファイルを表示できます。音楽を聞きながらテキストファイルを表示するといったことも簡単にできます。

■ OTG(USBホスト)機能
iAUDIO X5のUSBホスト機能を使用して、デジタルカメラで撮影した画像をiAUDIOに転送し表示することができます。
(*サポートされていないデジタルカメラもあります。）

■ ボイスレコーディング（音声録音）
本体に内臓された高品質マイクによって、ボイスレコーディング（音声録音）が可能です。この機能を利用してボイスメモや、会議内容を録音することができます。

■ ダイレクトエンコーディング(ライン入力)
外部オーディオ機器の出力端子とiAUDIOのライン入力端子を直接接続することにより、1倍速でダイレクトエンコーディング（直接録音）することができます。この機能を使用することにより、CDプレーヤー、MD（ミニディスク）、古いレコード盤、テレビ等の音響機器から直接音声を取り込むことができます。

■ FMラジオのリスニングと録音
FMチューナーが標準搭載されています。FM放送を聴いたり放送を録音（MP3形式）することもできます。
また、ラジオ局の周波数を保存することが出来るプリセット機能も装備しているので、お気に入りのラジオ局を簡単に呼び出すこともできます。

■ ワイドで最高級のカラー液晶ディスプレイ
iAUDIO X5には、160 x 128ドット、260,000色のTFT-LCDが搭載されており、通常操作のステータスを一目でチェックすることができます。

■ 世界最高の音響効果技術「BBE」に加え、多彩なエフェクト技術を搭載
- BBE Pocess：BBEサウンドフィールド効果により、音楽がより鮮やかに再現されます。
- Mach3 Bass：ベースブースタにより超低周波数が強調されます。
- MP Enhance：サウンドエフェクト機能により音源圧縮時に失われた音を補完します。
- 3D Surround：3Dサラウンド機能により空間感を生かす立体音響を実現します。
- 5Band EQ：ノーマル・ロック・ポップ・ジャズ・クラッシク・ユーザーのEQモードを5つの周波数帯で設定することができます。

■ シンプルかつ簡単なファームウェアのアップグレード
ファームウェアのアップグレード機能を使用して、製品のパフォーマンスを向上できます。

■ リムーバブルディスク機能
USBケーブルでPCに接続すると、取り外し可能なハードディスクとして認識されます。携帯用USBドライブとしても使用できます。

■ MP3エンコーディングソフトウェア
iAUDIOパッケージに同梱されているファイル転送ソフトウェアのJetShellは、オーディオCDのお気に入りの音楽を変換してiAUDIOに転送できます。

■ JetAudio
世界的に有名で人気のある統合マルチメディアプレイヤソフトウェアです。
また、JetAudioの変換ツールを使用すると、プログラムを追加することなくX5用のビデオ変換を簡単に行えます。

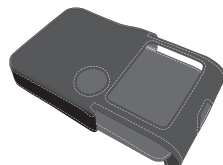
パッケージの構成品

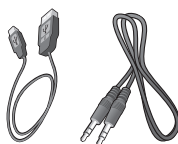
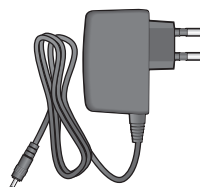
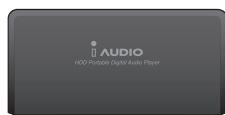
iAUDIO（MP3プレイヤの本体）

LCDリモートコントローラ(オプション)

※ X5-20-BLFのみ標準付属

イヤホン

インストールCD（JetShell、JetAudio）
ユーザーズガイド

専用キャリングケース(オプション)

サブパック

USB 2.0ケーブル、ライン入力録音ケーブル

AC電源アダプタ

クレイドル（オプション）

※ X5-20-BLFのみ標準付属

USBホストケーブル

機能

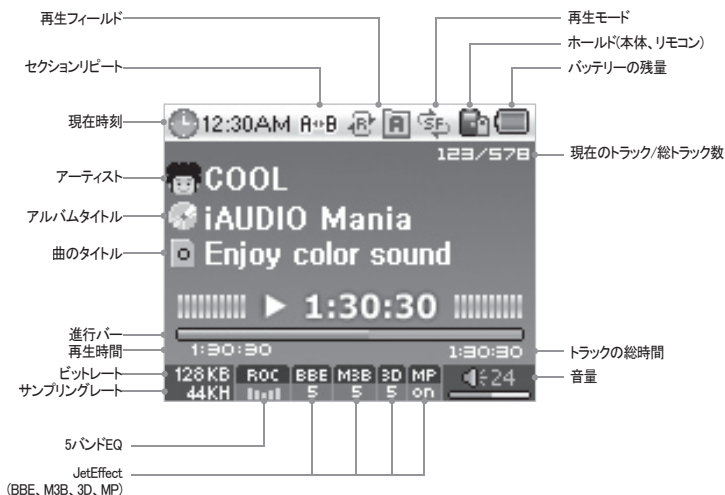
■ MP3、OGG、WMA、ASF、FLAC、WAV、MPEG4(動画)の再生、FMラジオの受信と録音、音声録音、Line-In入力録音
■ TXT(テキスト)、JPEG(画像)の表示、File Viewer機能(画像の拡大、背景画面の指定)
■ HDD(20GB/30GB)内蔵、USBホスト、ファイルのコピー/削除
■ USB 2.0インターフェース
■ 260,000色のTFT-LCD、解像度160x128
■ 長時間再生:最大14時間(X5)/35時間(X5L)再生 (LCD使用時には再生時間が異なります)
(COWON SYSTEMS,Inc.テスト環境基準による)
■ マルチリンガルサポート
■ 統合ナビゲーター機能
■ 再生/一時停止/停止、録音/録音中の一時停止
■ 次のトラック/前のトラック、高速早送り/高速巻き戻し、区間無限リピート
■ Resume機能、FadeIn機能、AutoPlay機能サポート
■ サーチ速度、Skip速度の設定
■ ボリューム(デジタル40段階)
■ 多様なEQおよび音場効果
- ユーザー調節が可能な5バンドEQ
- ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、ユーザー
- BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
■ 時計、アラーム、タイマー録音、スリープ機能、節電機能
■ 電源スイッチ(LCDオン/オフ機能付)、HOLDスイッチ
■ LCD自動オフ時間調節、輝度調節、コントラスト調節
■ ファームウェアダウンロード
■ ID3V2、ID3V1、ファイル名表示サポート
■ 機器情報確認(ファームウェアバージョン、HDD全体容量、HDD使用量、フォルダー総数、ファイル総数)
■ MAC OS サポート(データ転送のみ対応)
■ ソフトウェア
- JetShell (ファイル転送、MP3/WMA/WAV/AUDIO CD再生、MP3エンコーディング)
- JetAudio (統合マルチメディア再生ソフトウェア、音楽/ビデオ変換機能)

仕様

ﾌｧｲﾙｻﾎﾟｰﾄ	MP3 :MPEG 1/2/2.5 Layer 3、~320kbps、~48khz、モノ/ステレオ WMA(ASF) :~256kbps、~48khz、モノ/ステレオ OGG :~q10、~44.1khz、モノ/ステレオ FLAC :圧縮レベル0/1/2、~44.1khz、モノ/ステレオ WAV :~48khz、16ビット、モノ/ステレオ、XviD(MPEG-4)、CBR ~256kbps、最大160x128、15 fps JPEG
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ	ハードディスク(20GB/30GB)
PCｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	USB 2.0 (最大480M bps)
バッテリー	リチウムイオン充電池(最長連続再生時間 14時間(X5)/35時間(X5L) ※ COWON SYSTEMS,Inc.ﾃｽﾄ環境基準による)
電源	ACアダプタDC 5.0V、2A
充電時間	約3時間(X5)/約6時間(X5L) (AC電源アダプター使用時) / USB充電対応
ボタン	本体:ジョグ機能(NAVI/MENU、VOL+、VOL-、REW、FF)、PLAY、REC、POWER & HOLDスイッチ リモコン:PLAY/PAUSE、FF、REW、MENU、VOL+、VOL-、MODE、REC
ディスプレイ	160 x 128ドット、260,000色のTFT-LCD
SNR	95dB
周波数領域	20Hz~20KHz
出力	16 Ohmのイヤホン:20mW + 20mW
サイズ	103.7 mm X 60.8mm X 14.3mm (LCDを除く、iAUDIO X5Lの場合は103.7 mm X 60.8mm X 18.3mm)
重量	内蔵バッテリーを含めて145g(iAUDIO X5L :180g)

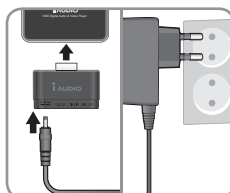
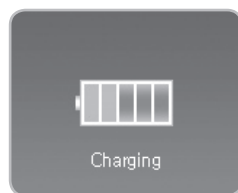
各部の名称

頂部
CHARGE LED
イヤホンジャック
（リモコン端子兼用）
左側
前面
右側
LCDディスプレイ
CHARGE
COLOR SOUND
USB HOST
USB HOST
+VOL+ボタン
レバー（メニュー/ナビゲーション）
◀REWボタン
メニュー/ナビゲーション
▶FFボタン
VOL-ボタン
iAUDIO
HDD Digital Audio & Video Player
電源/
HOLDスイッチ
HOLD
REC/A⇔Bボタン
REC/A-B
PLAYボタン
PLAY
MIC
MIC
RESETボタン
RESET
底部
コネクタ

液晶ディスプレイ

バッテリーレベルのアイコンは、残量時間を表示します。バッテリーの充電量が少なくなるにつれて、枠内の4個のボックスが減っていきます。

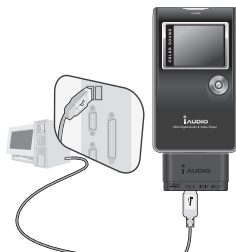
バッテリーの充電が必要になると、アイコンが点滅し始めます。
その時点で、AC電源アダプタを接続してバッテリーを充電を開始してください。

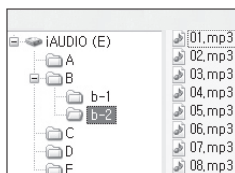
電源と充電装置への接続

1. サブパックをiAUDIO X5本体の底部に接続してください。

2. ACアダプタをコンセントとサブパックのDCジャックに接続してください。

3. 電源が本体に自動的に入り、接続されると充電が開始されます。

- 初めて使用する場合や、長期間使用していない場合は、ACアダプタを使用してiAUDIOを充分に充電してから利用してください。
- 安全にご利用いただくため、付属のACアダプタのみ使用してください。

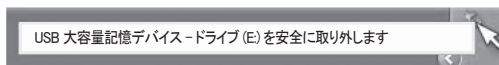
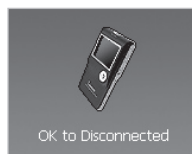
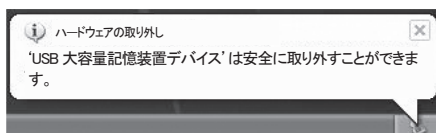
PCへの接続

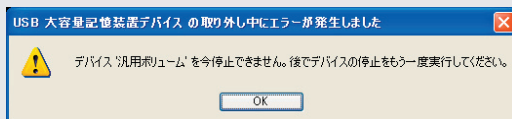
1. サブパックをiAUDIO X5本体の底部に接続してください。

2. 付属のUSBケーブルを使用して、サブパックのUSB 端子をPCに接続してください。

3. 正しく接続された場合は、以下の図が液晶ディスプレイに表示されます。

4. Windowsの検索機能を使用して、新しく追加したドライブを確認できます。

- Windows 98および98 SEの場合は、別途ドライバをインストールする必要があります。
- ドライバのインストール手順については、P38の「デバイスドライバのインストール」を参照してください。
- この製品が認識できるフォルダーの最大数は、2,000フォルダーで、ファイルの最大数は、10,000ファイルです。

ファイルの保存と接続解除

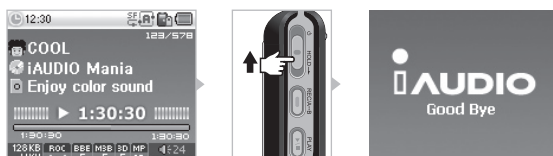
1. iAUDIO X5をお使いのPCに接続して、Windowsのエクスプローラを開きます。
2. iAUDIO X5で使用する音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイル等をドライブに保存します。
3. ファイルを保存したら、タスクバーの< >アイコンをクリックします。
4. 以下のポップアップメッセージが表示されたらクリックします。

5. [ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウが表示されます。同時に、以下の画像がiAUDIO X5液晶ディスプレイに表示されます。

6. [OK]ボタンをクリックしてから、USBケーブルを取り外します。

- この製品にはハードディスクが使用されているので、ハードウェアを安全に取り外してから、接続を解除してください。
- 以下のメッセージが表示されても、製品の故障を示すものではありません。しばらくしてから、ハードウェアを安全に取り外します。

電源をオンにする

電源スイッチを1-2秒間上方へ押すと電源がオンになります。

電源をオフにする

電源スイッチを1-2秒間上方へ押すと電源がオフになります。

・電源スイッチを上方向に短く押すと液晶ディスプレイがオフになりますが、電源はオンのままです。
電源スイッチを再度上方向に短く押すと、液晶ディスプレイがオンになります。

1. 簡単な操作

1. イヤホンを本体に接続します。(リモコンを使用する場合は、リモコンを本体に接続して、イヤホンをリモコンに接続してください)
2. 電源スイッチを上方向に長く押すと、電源がオンになります。
3. 初期画面とIAUDIOロゴ画面(ロゴの設定後)が表示されます。
4. [PLAY]ボタンを押して、音楽を再生します。(設定により自動再生が可能です)
5. レバーを左右に動かして、他の曲を再生します。レバーを上下に動かして音量を調節します。
6. 電源スイッチを上方向に長く押すと、電源がオフになります。

- 録音中には電源をオフにできません。
- アダプタの接続時に電源をオンにすると、充電モードが有効になり、スタンバイ画面が表示されます。
- USBの接続時に電源をオフにすると、USB電源を使用する充電モードが有効になります。
- ただし、USBハブ使用時には、USBの充電モードはサポートされません。

2. モードを切り換えるための基本操作

例)デジタルAVモードからFMラジオモードへの切り換え:

メニューを開く
レバーを長く押して、メニューを開きます。

モードの選択
+、− 方向に上下にレバーを押して、様々なメニュー項目を設定します。レバーを押したり、レバーを ▸▸ の方向に押してメニューを選択します。レバーを ◂◂ の方向に押して、前のステップに戻ります。

12:30AM CH 10/20 107.70 MHz 87.5 108 KOR PRESET ON STEREO

6つのモードがあります(デジタルAV、FMラジオ、音声録音、ライン入力録音、画像、USBホスト、セッティング)。
モード間を切り換えるには、レバーを長く押してメニューを開いてから、指定したモードを選択します。
メニュー画面が表示されたら、レバーを +、− 方向に押して設定したいモードにします。
カーソルを設定したいモードに移動させてから、レバーや再生ボタンを押したり、レバーを ▸▸ 方向に押して、選択したモードの画面を表示すれば、モード切り換え操作は完了です。
モード切り換え画面の操作をキャンセルし、元のモードに戻るには、[REC]ボタンを押します。

3. メニューを使用するための基本操作

例)JetEffect EQをNOR(ノーマル)からROC(ロック)に変更する場合:

デジタルAVモード

メニューを開く
レバーを長く押して、メニューを
入力します。

[Settings]に移動
[Settings]に移動します。

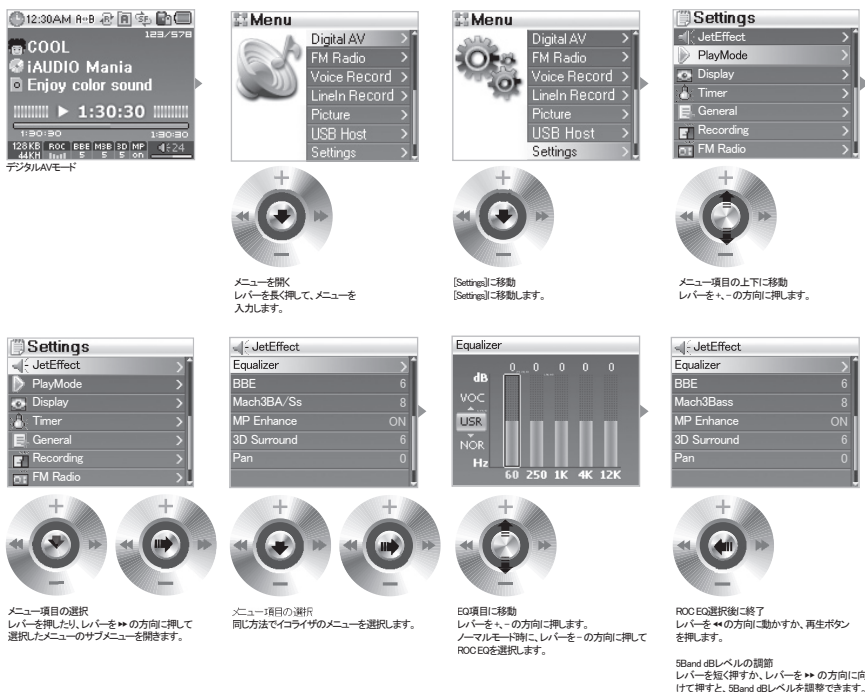
メニュー項目の上下に移動
レバーを+、－の方向に押します。

メニュー項目の選択
レバーを押したり、レバーを ▸▸ の方向に押して
選択したメニューのサブメニューを開きます。

メニュー項目の選択
同じ方法でイコライザのメニューを選択します。

EQ項目に移動
レバーを+、－の方向に押します。
ノーマルモード時に、レバーを－の方向に押して
ROC EQを選択します。

ROC EQ選択後に終了
レバーを ◂◂ の方向に動かすか、再生ボタン
を押します。

5Band dBレベルの調節
レバーを短く押すか、レバーを ▸▸ の方向に向
けて押すと、5Band dBレベルを調整できます。

■ メニュー項目の移動
レバーを押したままメニューを入力し、レバーを +、－ の方向に押してメニュー項目を移動します。
レバーを押したり、レバーを ▸▸ の方向に押して下位のメニューを開きます。
レバーを ◂◂ の方向に押して、上位のメニューに移動します。(最上位のメニュー画面を選択すると、スタンバイ画面に戻ります)。

■ メニュー項目値の調節
最下位の項目の場合は、項目の設定画面が開きます。
レバーを +、－ の方向に押して、値を設定したいレベルに調節します。
レバーを押して、項目を選択します。調節された値は、ただちに反映されます。
設定が完了したら、[PLAY]ボタンを押して、モード画面に戻ります。

■ メニュー項目設定のキャンセル、メニュー画面の終了
[録音]ボタンを押すと、設定中の項目値が前の値に戻され、メニュー画面が閉じられます。

■ イコライザのメニュー項目の設定
イコライザのメニュー項目の入力
レバーを +、－ の方向に押して、設定したいEQを選択します。
レバーを ▸▸ の方向に押して、EQの各バンドを選択します。
バンドの選択時に、レバーを +、－ の方向に押して、バンドのdBレベルを調節します。(0〜12dB)
レバーを ◂◂ の方向に押して、上位のメニューに戻るか、[PLAY]ボタンを押してEQの設定を完了します。

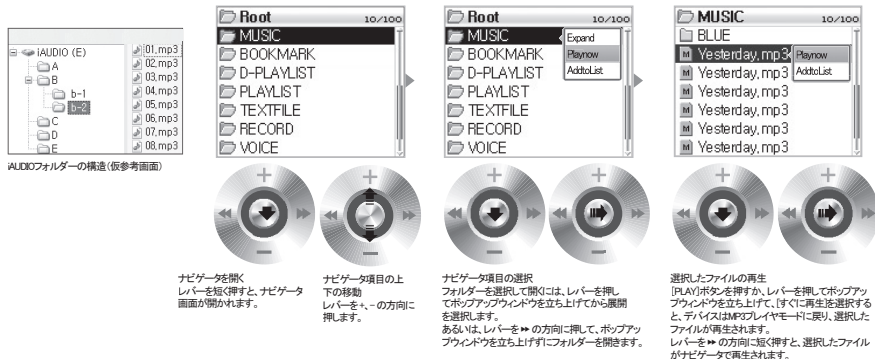
4. ナビゲータを使用するための基本操作

iAUDIOフォルダーの構造(仮参考画面)

ナビゲータを開く
レバーを短く押すと、ナビゲータ画面が開かれます。

ナビゲータ項目の上下の移動
レバーを+、－の方向に押します。

ナビゲータ項目の選択
フォルダーを選択して開くには、レバーを押してポップアップウィンドウを立ち上げてから展開を選択します。
あるいは、レバーを ▸▸ の方向に押して、ポップアップウィンドウを立ち上げずにフォルダーを開きます。

選択したファイルの再生
[PLAY]ボタンを押すか、レバーを押してポップアップウィンドウを立ち上げて、[すぐに再生]を選択すると、デバイスはMP3プレイヤモードに戻り、選択したファイルが再生されます。
レバーを ▸▸ の方向に短く押すと、選択したファイルがナビゲータで再生されます。

■ ナビゲータ画面を開く
ナビゲータ画面を開くには、レバーを短く押します。
デジタルAV、音声録音、ライン入力録音、画像モード時には、ナビゲータが開いて保存されているフォルダとファイルが表示されます。 FMチューナーモードでは、周波数を検索し設定するナビゲータが開きます。
USBホストモードにはデフォルトでナビゲータ画面が設定されています。

■ ナビゲータ項目間の移動
レバーを +、－ の方向に押して、ナビゲータ項目間を上下に移動します。
[PLAY]ボタンを押したり、レバーを ▸▸ の方向に押して下位のフォルダーに移動します。
レバーを ◂◂ の方向に押して、上位のフォルダーに移動します。
(最上位のフォルダーでは、ナビゲータは閉じられ、元のモード画面に戻ります。)

■ ナビゲータ項目の選択
ファイル項目を選択する場合は、[PLAY]ボタンを押すか、レバーを ▸▸ の方向に移動してファイルを再生します。フォルダ項目を選択する場合は、[PLAY]ボタンを押すか、レバーを ▸▸ の方向に移動してフォルダを開きます。

■ ナビゲータポップアップウィンドウ
レバーを押すと、フォルダ、ファイル、ダイナミック再生リストファイル、ラジオモードに応じて、該当するポップアップウィンドウが開きます。レバーを +、－ の方向に押して、設定したいポップアップ項目を選択します。
[再生]ボタンを押すか、レバーを ▸▸ の方向に押してポップアップ項目を選択します。
[REC]ボタンを押して、ポップアップウィンドウをキャンセルし閉じます。

項目	ポップアップテキスト
マルチメディアファイル(音楽・動画ファイル)	Play Now, Add to List
一般フォルダ	Expand, Play Now, Add to List
ダイナミック再生リストファイル	Play Now, Remove, Remove all
ブックマークファイル	Play Now, Remove, Remove all
ラジオモードナビゲータ	Listen Ch, Save Current, Delete Ch
画像ファイル	View, Wallpaper
画像フォルダ	Expand, Thumnail

■ ナビゲータを閉じる
[REC]ボタンを押すと、ナビゲータ画面が閉じられ、元の画面に戻ります。

1. デジタルAVモード(マルチメディアファイルとテキストビューワーの操作)

デジタルAVモードはオーディオファイルと画像ファイルを再生したり、ハードディスクに保存されたテキストファイルを表示するモードです。 モード間の切り換えについては、P13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。

■ マルチメディアファイルの再生

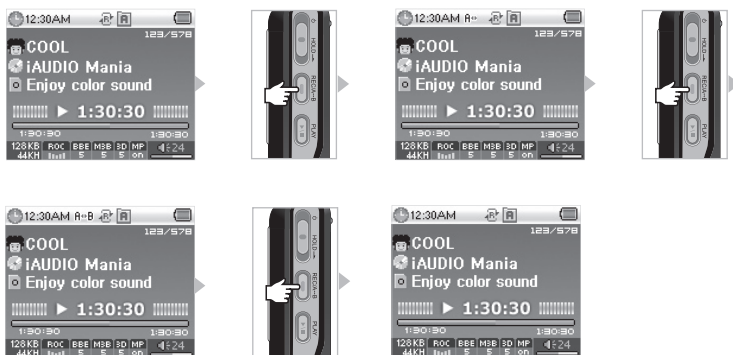
1. 電源をオンにします。初期画面とロゴ画面が表示されてから、基本情報が記載されたスタンドバイ画面が表示されます。
2. [PLAY]ボタンを押して、音楽ファイルまたは動画ファイルを再生します。
3. 再生中に[PLAY]ボタンを押すとファイルが一時停止します。
4. 再生中にレバーを1方向(左または右)に短く押すと、別の曲または動画を再生します。
5. 再生中にレバーを1方向(左または右)に押したままにすると、曲または動画の早送り・巻き戻しができます。

- 自動再生がオンの場合、ファイルの再生と同時に、画面が表示されます。
- レジューム機能がオンの場合、前回再生したセクションから再生が始まります。
- レバーを +、- の方向に動かして音量を調節します。
- 再生中に表示される曲の情報は、曲のタイトル設定により異なります。
- ハードディスクの特性により、選択した曲の再生に数秒間かかる場合がありますが、製品の故障ではありません。
- 多くのファイルが保存されている場合、画面の表示に時間がかかりますが、製品の故障ではありません。
- デジタルAVモードでは、最大で1999個のフォルダを認識できます。また、最大で9999個のファイルを認識できます。
  最大で52文字まで、ファイル名に指定できます。52文字を超えると、超えた分の文字数がカットされます。
  (認識ファイルは、再生可能な音声とビデオファイルのみとなり、その他のファイルの場合には制限がありません。)
- JetAudioによりエンコーディング処理がなされていないビデオファイルの場合、通常の操作が実行できないこともあります。

■ TextViewerの操作

1. USBケーブルを使用して、iAUDIOをPCに接続します。詳しくはP11の「PCへの接続」を参照してください。
2. iAUDIOで表示するテキストファイルを、iAUDIOの「TEXT FILE」フォルダに保存します。
3. iAUDIOとPCの接続解除は、P12の「ファイルの保存とPCからの接続解除」を参照してください。
4. 電源をオンにして、「TEXT FILE」フォルダに保存したテキストファイルをナビゲータで選択することにより、テキストファイルが表示されます。
5. レバーを +、- の方向に動かすことで行が移動します。レバーを ◀◀、▶▶ の方向に動かすことでページを移動します。
6. レバーを押して、ウィンドウを個別に立ち上げ、指定した場所に直接移動します。
7. [REC]ボタンを押して、テキストビューワーモードを終了します。

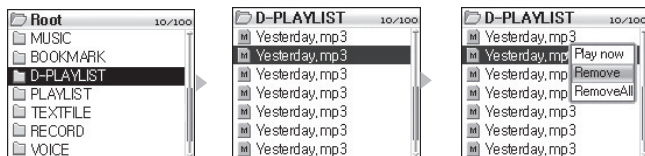
- 音楽を聞きながら、テキストファイルを表示できます。
- 「TEXT FILE」フォルダにのみテキストファイルを保存します。
- テキストファイルについては、最大で128KBまで認識できます。ファイルが保存できるフォルダの最大数は48フォルダです。ファイルの最大数は99ファイルになります。(「TEXT FILE」下の総ファイル数)

■ セクションリピートの設定

セクションリピート機能により、指定した範囲内で聞いたり再生するセクションを設定できます。
1. デジタルAVモードでは、オーディオファイルの再生中に、繰り返したいセクションの開始点で録音(A◀▶B)ボタンを押すと、(A◀▶)アイコンが上部のステータスバーに表示されます。
2. 繰り返したいセクションの終了点で、録音(A◀▶B)ボタンを押すと、アイコンが(A◀▶B)に変更され、選択したセクションが繰り返し再生されます。
3. [REC]ボタンを再度押すと、セクションリピートがキャンセルされます。

- 1秒より長いセクションを選択してください。
- セクションリピート設定中に別の曲を選択したり、検索するとセクションリピート操作がキャンセルされます。
- この機能はオーディオファイルのみに適用されます。セクションリピート機能は、エンコードされたビデオファイルには適用されません。

■ ダイナミック再生リスト(D-PLAYLIST)の設定

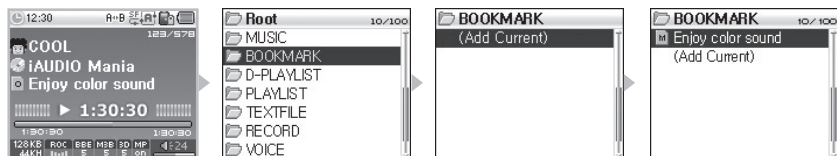
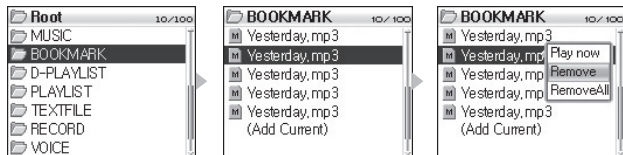
■ D-PLAYLISTへの曲の追加

■ D-PLAYLISTからの曲の削除

この機能によりX5の中にある曲を簡単にリストアップして聞くことができます。
ハードディスクには「D-PLAYLIST」と呼ばれる特定のフォルダがあります。このフォルダはコンピュータに認識されません。
ユーザーは曲をリストに追加したり削除して、「D-PLAYLIST」フォルダを開いて再生できます。

1. 「D-PLAYLIST」に曲を追加するには、ナビゲータで曲やフォルダをポップアップしてから、[Add to list]を選択します。
2. 「D-PLAYLIST」の曲を削除するには、「D-PLAYLIST」フォルダで削除したい曲をポップアップし[Remove]を選択します。

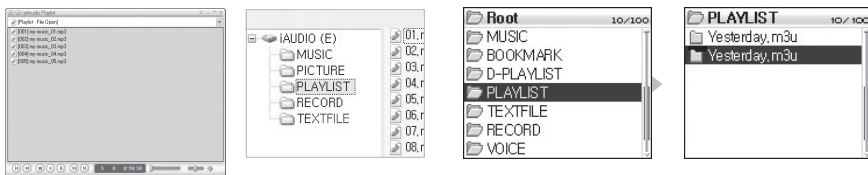
- 「Add to list」にフォルダ全体を追加すると、フォルダの曲すべてが「D-PLAYLIST」に追加されます。
- 「D-PLAYLIST」から曲をすべて削除するには、ポップアップウィンドウから[RemoveAll]を選択します。
- 「D-PLAYLIST」から曲を削除すると、ファイルではなくリンクが削除されるだけです。ファイルを削除するには、USBホストモード時、またはiAUDIOがPCに接続されている時にファイルを削除する必要があります。 詳しくはP25の「各種モードの操作方法」または、P11の「PCへの接続」を参照してください。
- [再生]および[REC]ボタンを使用して、[D-PLAYLISTの曲の追加]を設定できます。そのためには、AVファイルの再生中にボタンを押したままにします。すると、「Add to list」というメッセージが表示され曲が「D-PLAYLIST」に追加されます。(既に追加されている曲は削除され、「Deletted from DPL」というメッセージが表示されます。) 詳しくはP36の「メニュー機能の詳細な説明」→「Controls」を参照してください。
- PCから「D-PLAYLIST」の曲を削除すると、保存したダイナミック再生リストが自動的に削除されます。
- 最大で200ファイルを「D-PLAYLIST」に追加できます。

■ ブックマークの設定

■ BOOKMARKへの曲の追加

■ BOOKMARKからの曲の削除

ブックマークは曲ごとの開始位置(本で言う"シオリ"の役割)を設定する機能です。
ハードディスクには既に「BOOKMARK」と呼ばれる特定のフォルダがあります。このフォルダはPCでは認識されません。
ファイルに対して再生を開始したい場所にブックマークを指定すると、いつでもその場所からファイルを再生できます。

1. ファイルの再生中に「BOOKMARK」フォルダ(ナビゲータを使用する最上位のフォルダ)に移動します。
2. ブックマークを設定したい場所でフォルダの[Add Current]を押すと、ブックマークがその場所に設定されます。
3. 「BOOKMARK」の中にあるファイルを選択して、ブックマークが設定されたファイルを再生します。
4. ブックマークされた曲を削除するには、「BOOKMARK」フォルダで削除したい曲をポップアップし[Remove]を選択します。

- ファイルが既にブックマークに設定されている場合は、[Add Current]を選択するとそのブックマークの場所が新しい開始点に変更されます。
- 「BOOKMARK」から曲をすべて削除するには、ポップアップから[Remove All]を選択します。
- [BOOKMARK]から曲を削除すると、ファイルでは無くリンクが削除されるだけです。ファイルを削除するには、USBホストモード時、またはiAUDIOがPCに接続されている時にファイルを削除する必要があります。詳しくはP25の「各種モードの操作方法」または、P11の「PCへの接続」を参照してください。
- PCから[BOOKMARK]の曲を削除すると、保存したブックマークが自動的に削除されます。.
- 最大で20ファイルを[BOOKMARK]に追加できます。
- ブックマークはビデオファイルをサポートしません。

■ 再生リスト(M3U再生リスト)の設定

[PLAYLIST]と呼ばれるフォルダが、ハードディスクの最上位フォルダに既に存在しているので、ユーザーはお気に入りの再生リスト(M3U)を作成できます。

1. M3Uファイルを作成するにはUSBケーブルを使用してiAUDIOをPCに接続します。詳しくはP11の「PCへの接続」を参照してください。
2. M3Uファイルを作成できるプログラム(JetAudio、WinAmp等)を実行します。
3. iAUDIOのファイルを各プログラムの再生リストに移動して編集し、M3Uファイルとして保存します。
4. 作成したM3UファイルをiAUDIOの「PLAYLIST」フォルダに保存します。
5. iAUDIOとPCの接続解除は、P12の「ファイルの保存とPCからの接続解除」を参照してください。
6. iAUDIOをオンにしてからナビゲータを使用して、[PLAYLIST]フォルダに保存されたM3Uファイルを再生します。

- M3Uファイルはオーディオファイルの再生リストです。従ってM3Uファイルを削除してもオーディオファイルは削除されません。
- M3Uファイルは必ず「PLAYLIST」フォルダに保存してください。
- iAUDIOをPCに接続している間に、iAUDIOに保存されたファイルに対してM3Uファイルを作成する必要があります。
  PCでM3Uファイルを作成したり、iAUDIOをPCに接続してからPCに保存したファイルが含まれるM3Uファイルを作成すると正しく再生されません。
- USBホストモード時、またはデバイスをPCに接続した時に限り、M3Uファイルを削除できます。詳しくはP25の「各種モードの操作方法」または、P11の「PCへの接続」を参照してください。
- M3Uファイルは最大128KBまで認識できます。ファイルが保存できるフォルダの最大数は99フォルダで、M3Uファイルは最大999曲サポートできます。

2. FMラジオモード(FMラジオを聞く)

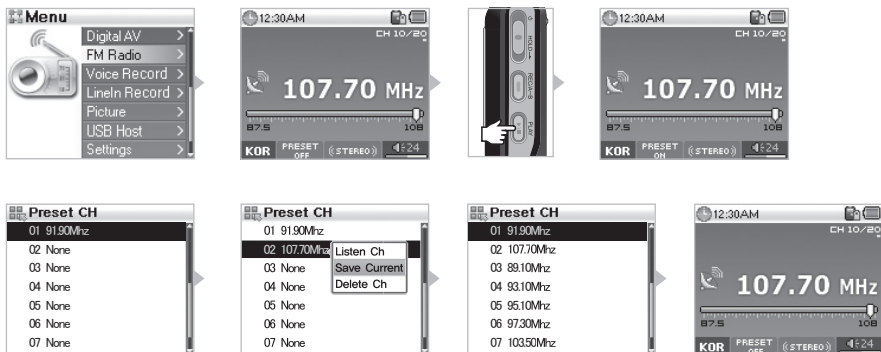
FMラジオモードはラジオ局の周波数を選択して聞くためのモードです。(※ マニュアル内の画像は韓国設定で表記されております。)

■ FMラジオを聞く

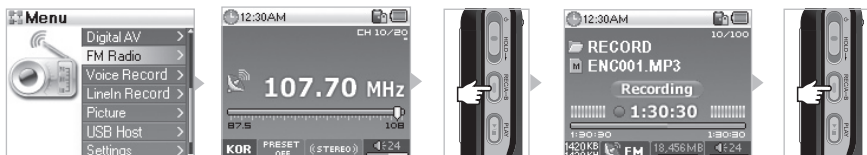
1. 製品をオンにしてFMラジオモードに移動します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
2. レバーを ◀◀、▶▶ の方向に短く押すたびに、0.1Khz移動します。
3. レバーを ◀◀、▶▶ の方向に押したままにすると、受信状態の良好なチャンネルを自動的に検索します。

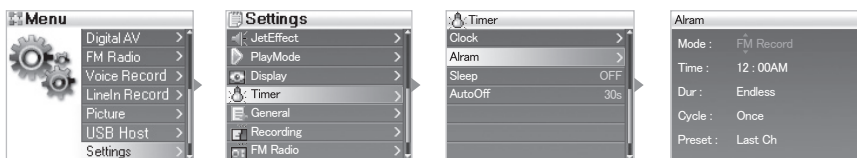
- ラジオを聞いてから電源をオフにした場合は、電源を再度オンにするとラジオモードが再開されます。

■ プリセットの設定

頻繁に聞く周波数を設定しておくと、聴きたい周波数を直接選択することができます。

1. 製品をオンにしてFMラジオモードに移動します。 詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
2. 頻繁に聞く周波数を選択して[PLAY]ボタンを押し、プリセットモードを実行します。
3. レバーを軽く押すと、ナビゲーターモードに移動します。
4. 現在の周波数を入力し、レバーを +、- の方向に動かして聴きたいチャンネルを設定してから、レバーを押してポップアップウィンドウを立ち上げます。
5. [Save Current]を選択すると、現在受信している周波数が指定したチャンネルとして保存されます。
6. [Listen Ch]を選択すると選択した周波数を聴けます。また[Delete Ch]を選択すると不要な周波数を削除できます。
7. プリセットモードの[PLAY]ボタンを押すと、通常の検索が可能なモードに切り換わります。

- プリセットモードに周波数が入力されていない場合は、周波数の移動および検索は無効になります。
- [PLAY]ボタンを押したままにすると、プリセット局が自動的に設定されます。（サーチ状態）
- 最大で24局のプリセット局を保存できます。

■ FMラジオの録音

1. 製品をオンにしてFMラジオモードに移動します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
2. 録音する周波数に移動します。
3. 録音を開始するには、録音を開始したいポイントで[REC]ボタンを長押ししてください。
4. [REC]ボタンを再度押すと、録音が停止されます。

■ FMラジオのタイマー録音

1. iAUDIOに時刻を設定する手順については、P34の「6. Timer – 1.Clock」を参照してください。
2. アラームからFM録音モードを選択する手順については、P34の「6. Timer – 2.Alram」を参照してください。
3. プリセットタイムになると、製品は自動的にオンになり設定に応じて録音が開始されます。詳しくはP34の「6.Timer – 2.Alram」を参照してください。

- 録音したファイルは最上位のフォルダの「RECORD」で確認できます。
- 録音には通常よりバッテリーが多く消費されます。必ずバッテリーをフル充電してから録音してください。
- 録音内容の音質と出力状態は、録音時の音質設定、および受信状態により異なります。詳しくはP36の「8. Recording」を参照してください。
- 1回の録音に要する最大容量は268MBです。容量を超えると、新しいファイルが作成されて録音が開始されます。
- ハードディスクの空き容量が128MB未満の場合は録音が開始されません。録音中に空き容量が128MB未満になると録音は終了します。
- 最大で999ファイルまで録音できます。

3. 音声録音モード(内蔵マイクによる音声の録音)

音声録音モードは、内蔵のマイクを使用して音声を録音する機能です。

1. 製品をオンにして音声録音モードに移動します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
2. [REC]ボタンを押して、録音を開始します。
3. [REC]ボタンを再度押すと、録音が停止されます。
4. [PLAY]ボタンを押して、録音したファイルを再生します。

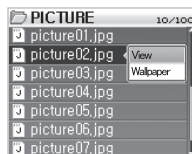
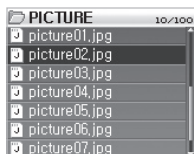
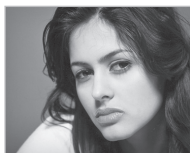
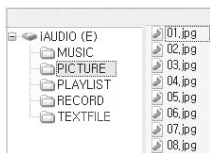
- 音声録音を実行してから製品をオフにした場合は、電源を再度オンにすると音声録音モードがレジュームされます。
- 録音には通常よりバッテリーが多く消費されます。必ずバッテリーをフル充電してから録音してください。
- [REC]ボタンのユーザー設定機能にVoiceRecordを設定している場合、音楽を聴いている途中でも音声録音を開始できます。
  詳しくはP36の「7. General – 6. Controls」を参照してください。
- 録音したファイルは最上位のフォルダの「VOICE」で確認できます。
- 録音内容の音質と出力状態は録音時の音質設定や受信状態により異なります。詳しくはP37の「8. Recording」を参照してください。
- 1回の録音に要する最大容量は268MBです。容量を超えると新しいファイルが作成され録音が開始されます。
- ハードディスクの空き容量が128MB未満の場合は録音は開始されません。録音中に空き容量が128MB未満になると録音は終了します。
- 最大で999ファイルまで録音できます。

4. ライン入力録音モード(ステレオケーブルを使用した録音)

ライン入力録音モードは、この製品に同梱されているステレオケーブルを使用して、CDプレーヤー等のオーディオ機器からiAUDIOにサウンドを録音する機能です。

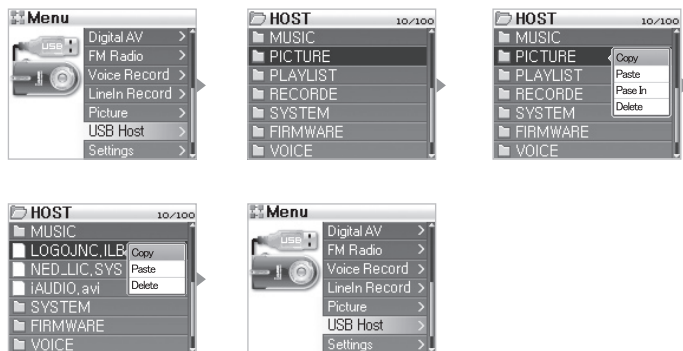
1. ステレオケーブルを使用して、CDプレーヤーのヘッドフォン端子をiAUDIOのライン入力端子に接続します。
2. iAUDIOの電源をオンにしてライン入力録音モードに移行します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
3. [REC]ボタンを押すと録音が終了し、音声信号が入るまでスタンバイ状態になります。自動同期化の設定については、P37の「8. Recording - 6. AutoSync」を参照してください。
4. CDプレーヤーの「再生」ボタンを押してiAUDIOから録音を開始します。
5. [REC]ボタンを再度押すと、録音が停止されます。
6. 録音したファイルを聞くには、イヤホンを接続してから「再生」ボタンを押します。

- 音声録音を実行してから電源をオフにした場合は、電源を再度オンにすると音声録音モードがレジュームされます。
- 録音には通常よりバッテリーが多く消費されます。必ずバッテリーをフル充電してから録音してください。
- 録音したファイルは最上位のフォルダの「RECORD」で確認できます。
- 録音内容の音質と出力状態は録音時の音質設定により異なります。詳しくはP37の「8. Recording」を参照してください。
- 1回の録音に要する最大容量は268MBです。容量を超えると新しいファイルが作成され録音が開始されます。
- ハードディスクの空き容量が128MB未満の場合は録音は開始されません。録音中に空き容量が128MB未満になると録音は終了します。
- 最大で999ファイルまで録音できます。

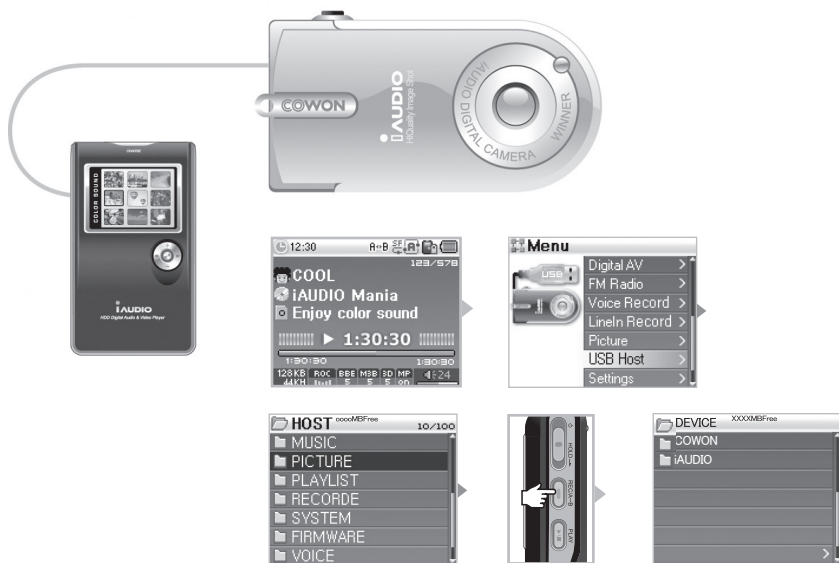
5. 映像モード(画像の表示)

1. USBケーブルを使用してiAUDIOをPCに接続します。詳しくはP11の「PCへの接続」を参照してください。
2. iAUDIOで表示する画像ファイルを、iAUDIOの「PICTURE」フォルダに保存します。
3. iAUDIOとPCの接続解除します。詳しくはP12の「ファイルの保存とPCからの接続解除」を参照してください。
4. 製品をオンにして、画像モードに移行します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
5. 「PICTURE」フォルダに保存された画像ファイルを表示できます。
6. レバーを +, − の方向に動かして画像のサイズを拡大したり縮小します。レバーを ◂◂、▸▸ の方向に動かして、前/後の画像を順次表示することができます。
7. 画像を拡大したまま[PLAY]ボタンを押すと画像の表示位置を移動できます。
8. [PLAY]ボタンを押すとサムネイル画像を表示します。
9. レバーを短く押してナビゲータを表示します。ファイル名を選択しレバーを短く押すと、ポップアップウィンドウが表示されます。
10. [View]を選択して画像を表示します。[Wallpaper]を選択すると画像をデスクトップの壁紙として設定できます。
    詳しくはP32の「5. Display − 6. Wallpaper」を参照してください。
11. 製品をオフにしたり、画像の表示中にレバーを押したままにして別のモードに設定すると、画像モードが終了します。

- JPG(プログレッシブタイプを除く)以外の画像フォーマットはサポートされていません。
- 画像ファイルは必ず「PICTURE」フォルダのみに保存してください。
- 「PICTURE」フォルダのサブフォルダはサポートされていません。「PICTURE」フォルダ内に作成されたフォルダ・サブフォルダ内の画像ファイルは全て同一フォルダ内として認識されます。
- 画像ファイルについては、最大で2.5MBまで認識できます。ファイルが保存できるフォルダの最大数は999フォルダです。ファイルの最大数は4999ファイルになります(「PICTURE」下の総ファイル数)。

6. USBホストモード(対応するデバイスを使用したファイルの送受信)

USBホストモードでは、iAUDIOまたはデジタルカメラや読み取り装置といったUSB対応機器から、ファイルやフォルダのコピーや削除が行えます。
モード間の切り換えについては、P13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。

1. 電源をオンにしてからUSBホストモードに移行します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
2. ナビゲータと同様にiAUDIOでフォルダとファイルを表示します。
3. USBホストモードでのフォルダの操作はナビゲータモードと同様です。詳しくはP15の「ナビゲータを使用するための基本操作」を参照してください。
4. フォルダを選択すると、ポップアップウィンドウが4つのメニューと共に表示されます。
   - Copy　:選択したフォルダをクリップボードに保存します。
   - Paste　:コンテンツをクリップボードから現在開かれているフォルダにコピーします。
   - Paste in :コンテンツをクリップボードから現在選択されているフォルダ内にコピーします。
   - Delete　:選択したフォルダを削除します。
5. ファイルを選択すると、ポップアップウィンドウが3つのメニューと共に表示されます。
   - Copy　:コピー:選択したファイルをクリップボードに保存します。
   - Paste　:コンテンツをクリップボードから現在開かれているフォルダにコピーします。
   - Delete　:選択したファイルを削除します。
6. 電源をオフにするかUSBホストモードの[Menu]ボタンを押したままにして、別のモードに移行しUSBホストモードを閉じます。

- iAUDIOとUSB対応機器の上位フォルダは、それぞれ「HOST」と「DEVICE」になります。
- iAUDIOは複数のファイル選択をサポートしません。複数のファイルを一度にコピーする場合は、フォルダ別に区別する必要があります。
- クリップボードは、ファイルとフォルダがコピー時に保存される仮想スペースです。
- USBホストモードでは、認識できる最大フォルダ数と最大ファイル数はそれぞれ、1499フォルダと2999ファイルです。

■ USB対応機器の使用

1. USBホストケーブルを使用して、USB対応機器をiAUDIO X5側面にある USB HOSTジャックに接続します。
2. 電源をオンにしてからUSBホストモードに移行します。詳しくはP13の「モードを切り換えるための基本操作」を参照してください。
3. 「HOST」モードが表示されたら「DEVICE」モードに変更されるまで[REC]ボタンを押したままにします。
4. フォルダを選択すると、ポップアップウィンドウが4つのメニューと共に表示されます。
   - ● Copy　：選択したフォルダをクリップボードに保存します。
   - ● Paste　：コンテンツをクリップボードから現在開かれているフォルダにコピーします。
   - ● Paste in：コンテンツをクリップボードから現在選択されているフォルダ内にコピーします。
   - ● Delete　：選択したフォルダを削除します。
5. ファイルを選択すると、ポップアップウィンドウが3つのメニューと共に表示されます。
   - ● Copy　：コピー:選択したファイルをクリップボードに保存します。
   - ● Paste　：コンテンツをクリップボードから現在開かれているフォルダにコピーします。
   - ● Delete　：選択したファイルを削除します。
6. コピーや削除を完了したら、USBホストケーブルを取り外します。
7. 電源をオフにするかUSBホストモードの[Menu]ボタンを押したままにして別モードに移行し、USBホストモードを閉じます。

- USB対応機器を初めて接続する場合は、少し時間がかかります。
- [REC]ボタンを押したままにすると、そのたびにモードが変更されるため時間が少しかかります。
- USB対応機器が認識されない場合、モードは変更されません。
- USBホストモードでは、USB対応機器の認識できる最大フォルダ数と最大ファイル数はそれぞれ、1499フォルダと2999ファイルです。

7. ボタンの使用(各モードのボタン操作表)

■ ナビゲータモード

ボタン		操作	ファイル選択時	フォルダ選択時
Play		●	再生モードに変わり、選択したファイルを再生します。	選択したフォルダに移行します。
FF		● ▬	ナビゲータモードに設定されたまま選択したファイルを再生します。	選択したフォルダに移行します。
REW		● ▬	親フォルダに移行します。	親フォルダに移行します。
MENU		●	ポップアップメニュー	ポップアップメニュー
+			フォーカスを上方に移動します。	フォーカスを上方に移動します。
−			フォーカスを下方に移動します。	フォーカスを下方に移動します。
REC/A↔B		● ▬	再生モードに変わります。	再生モードに変わります。

■ デジタルAVモード

ボタン		操作	停止時	再生時
Play		●	現在のファイルを再生します。	現在のファイルの再生を停止します。
		▬	ユーザー指定操作	ユーザー指定操作
FF		●	次のファイルへ移行します。	スキップの設定に応じて、5秒か10秒スキップするか、トラックをスキップします。
		▬	次のファイルへ移行します。	早送り
REW		●	前のファイルへ移行します。	スキップの設定に応じて、5秒か10秒スキップするか、トラックをスキップします。
		▬	前のファイルへ移行します。	巻き戻し
MENU		●	ナビゲータモード	ナビゲータモード
		▬	メニューの設定	メニューの設定
+			音量を上げます。	音量を上げます。
−			音量を下げます。	音量を下げます。
REC/A↔B		●		セクションリピートを設定/リセットします。
		▬	ユーザー指定操作	ユーザー指定操作

キー操作については、●は一度だけ短く押し、▬は2秒以上押したままにします。

■ ラジオモード

ボタン		操作	通常時	プリセットモード
Play		●	プリセットモードに変わります。	通常のモードに変わります。
FF		●	周波数が高くなります。	次のプリセットへ移行します。
		▬	次の局を自動検索します。	次のプリセットへ移行します。
REW		●	周波数が低くなります。	前のプリセットへ移行します。
		▬	前の局を自動検索します。	プリセットモードを設定します。
MENU		●	プリセットモードを設定します。	プリセットモードを設定します。
		▬	メニューの設定	メニューの設定
+			音量を上げます。	音量を上げます。
–			音量を下げます。	音量を下げます。
REC/A↔B		▬	録音の開始/停止	録音の開始/停止

■ 音声録音/ライン入力録音モード

ボタン		操作	停止時	録音時
Play		●	録音したファイルを再生します。	一時停止
MENU		●	ナビゲータモード	操作できません。
		▬	メニューの設定	操作できません。
+			音量を上げます。	操作できません。
–			音量を下げます。	操作できません。
REC/A↔B		●	録音を開始します。	録音を停止します。
		▬	録音を開始します。	録音を停止します。

キー操作については、●は一度だけ短く押し、▬は2秒以上押したままにします。

1. メニューのインデックス

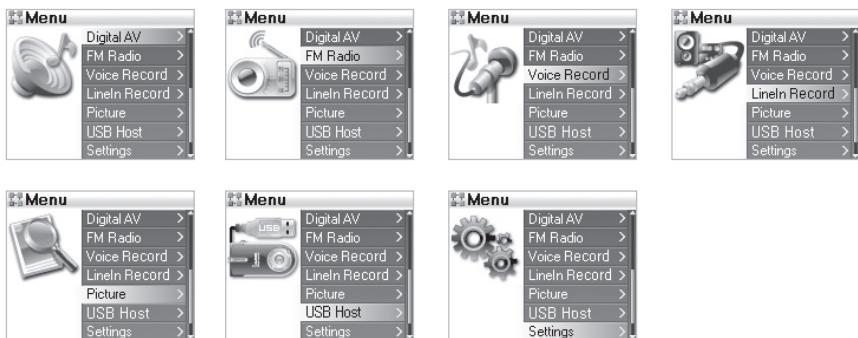
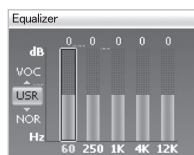
Menu	
	Digital AV
	FM Radio
	Voice Record
	LineIn Record
	Picture
	USB Host
	Settings

Settings

Category	Item
JetEffect	Equalizer
	BBE
	Mach3Bass
	MP Enhance
	3D Surround
	Pan
PlayMode	Boundary
	Repeat
	Shuffle
Display	Language
	Song Title
	Play Time
	Album Scroll
	Title Scroll
	WallPaper
	Status Bar
	Lyrics
	Scroll Speed
	Contrast(M)
	Contrast(R)
	Brightness(M)
	Backlight Time(M)
	Backlight Time(R)
Timer	Clock
	Alram
	Sleep
	AutoOff
General	Skip Length
	Scan Speed
	Resume
	AutoPlay
	FadeIn
	Controls
	USB Mode
	Load Default
Recording	FM Radio bps
	Line-in bps
	Voice bps
	Line Volume
	Mic Volume
	Auto Sync
	Voice Active
FM Radio	Streo
	FM Region
Information	

- 今後ファームウェアがアップグレードされると、設定メニューは変更される場合があります。
- 設定メニュー言語の変更については、P32の「5. Display - 1. Language」を参照してください。工場出荷時は英語設定となります。
- 設定メニューの操作については、P14の「メニューを使用するための基本操作」を参照してください。

2. Menu

初期画面から、設定操作を行ったり、デジタルAV、FMラジオ、音声録音、ライン入力録音、画像、USBホストモードを選択できます。モードの変更については、モード別の簡単な操作を参照してください。

3. JetEffect

1. Equalizer
プリセットが設定されています。また5-band EQを設定できます。ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ、ボーカル、ユーザーEQが利用できます。各EQについては、ユーザーの設定に応じて調節できます。

2. BBE
BBEは音場効果を与え、音質をクリアにします。

3. Mach3Bass
Mach3Bassはベースブースタにより、超低周波数が強調されます。

4. MP Enhance

MP Enhanceはサウンドエフェクト機能により、音源圧縮時に失われた音を補完します。

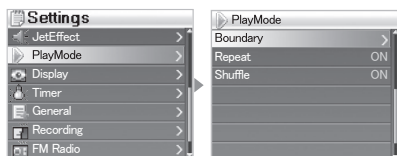
5. 3D Surround

3D Surroundは、立体音響効果を実現します。

6. Pan

Panは左右の音量バランスを 調節する機能です。

- JetEffectの設定を過度に調節すると、ノイズが発生したり、音声が乱れることがあります。
- JetEffectの詳細については、COWON SYSTEMS, Inc.のホームページ(www.cowonjapan.com)BBE MPセクションを参照してください。

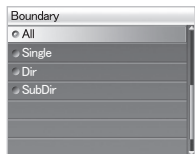
4. PlayMode

1. Boundary

● ファイルやフォルダの再生領域や様々な再生領域を設定します。

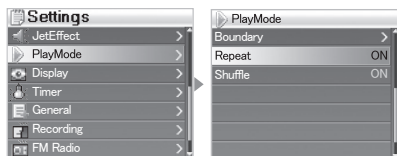
● All　　: 全フォルダのトラックをすべて再生します。

● Single : 1つのトラックのみ再生します。

● Dir　　: 現在選択されているフォルダのファイルのみ再生します。

● Sub Dir : 現在選択されているフォルダのサブフォルダをすべて再生します。

2. Repeat

Boundaryで指定した再生領域で、リピート機能の設定・リセットができます。

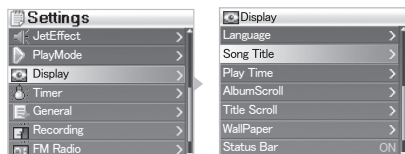
● リピート機能をONに設定すると再生を繰り返します。

3. Shuffle

● Boudaryで指定した再生領域で、ランダム再生を設定できます。

● シャッフル機能をONにすると、ランダムに選択され再生されます。

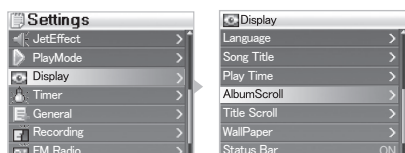
5. Display

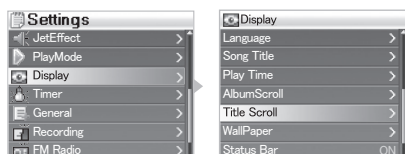
1. Language

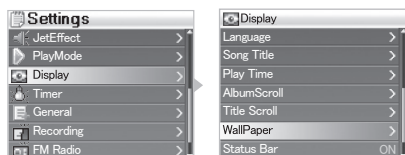
- この機能はタグとメニューに分類されます。ID3 tagの言語と設定メニューの言語をタグ、およびメニューにそれぞれ設定できます。

2. Song Title

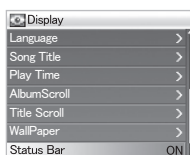
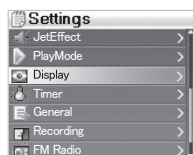
- ファイル名の表示方法を選択できます。
- ID3 tag と FileNameの表示を選定できます。

3. Play Time

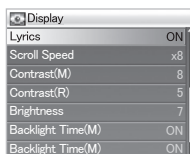
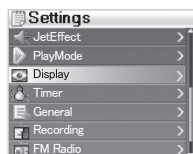
- 現在再生されているトラックの時間情報が表示されます。
- Elapsedは経過時間、Remainは残り時間を表示します。

4. Album Scroll

- 液晶ディスプレイに表示されるアルバム名のスクロール方法を設定することができます。
- OneWayは左方向へのみ、TowWayは左右にスクロールします。

5. Title Scroll

- 液晶ディスプレイに表示されるタイトル名のスクロール方法を設定することができます。
- OneWayは左方向へのみ、TowWayは左右にスクロールします。

6. WallPaper

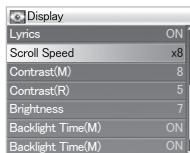
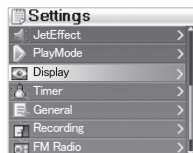
- 背景を選択できます。
- 「None」は背景がない設定です。「Default」は工場出荷時の設定となります。
- 「User」はPICTUREモードで壁紙に設定した背景としてファイルを表示します。

7. Status Bar

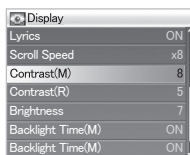
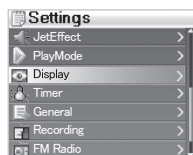
● ステータスバーを表示するかどうかを選択できます。

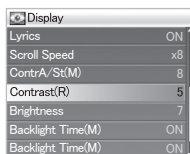
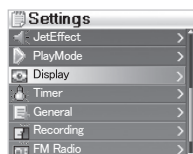
● ステータスバーをOFFにすると、画面の上下にあるステータスバーが非表示になり、表示領域が広がります。

8. Lyrics

● 歌詞入力済み音楽ファイルの歌詞を表示できます。

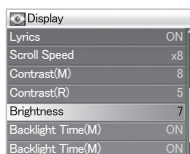
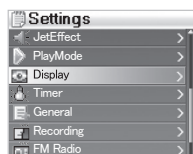
● ONに設定すると、液晶ディスプレイに選択した曲の歌詞を表示できます。

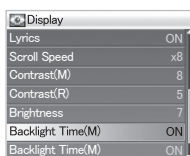
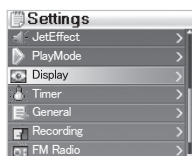
● 歌詞が入力されていない場合は、ONに設定されていても歌詞は表示されません。

9. Scroll Speed

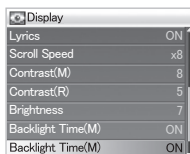
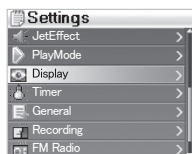
● 液晶ディスプレイに表示された文字のスクロール速度を設定できます。（数字が大きいほど、スクロール速度は速くなります）

10. Contrast(M)

● 液晶ディスプレイのコントラストを設定できます。
(数字が大きいほど、表示が濃くなります)

11. Contrast(R)

● リモコン(別売)のコントラストを設定できます。
(数字が大きいほど、表示が濃くなります)

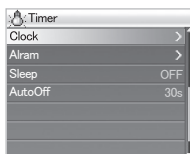
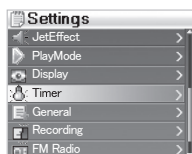
※X5-20-BLFのみ標準付属

12. Brightness

● 液晶ディスプレイの輝度を設定できます。
(数字が大きいほど、表示が明るくなります)

13. Backlight Time(M)

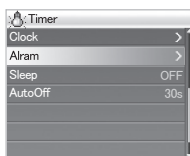
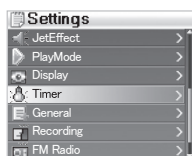
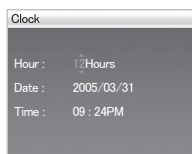
● 液晶ディスプレイのバックライトを点けておく時間(秒数)を設定できます。

14. Backlight Time(R)

● リモコン(別売)のバックライトを点けておく時間を設定できます。

※X5-20-BLFのみ標準付属

6. Timer

1. Clock

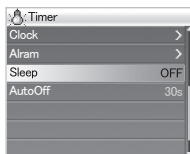
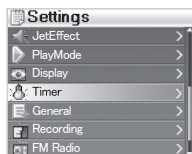
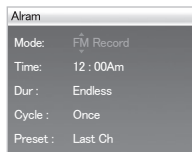
● 現在の時間を設定します。

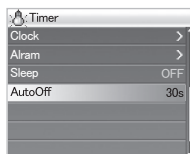
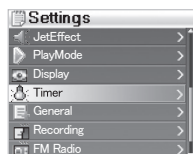
2. Alram

● 指定時間にiAUDIOを自動的に起動させます。

● Cycleを [Once]に設定すると一度、[Everyday]に設定すると毎日、[Mon~Fri]に設定すると月曜日から金曜日まで、アラームを鳴らすことができます。

● [Dur]はアラームが鳴る時間を示します。時間が過ぎるとアラームは自動的に終了します。

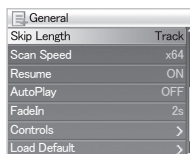
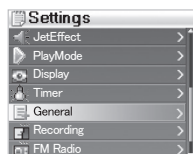
● FMアラームとFM録音モードでは、プリセットを選択したり、聞いていた最後の局を選択できます。

● FMタイマー録音機能を実行すると、より多くのバッテリーが消費されます。ご使用前には充分な容量があるか確認してください。

3. Sleep

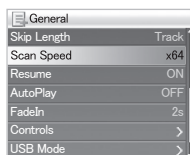
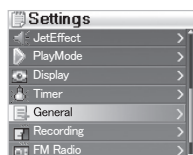
● iAUDIOをご使用中に、無操作で指定時間経過すると自動的的に電源がOFFになります。

4. AutoOff

● iAUDIOの操作を一定時間行わない場合に、自動的に電源をOFFにするまでの時間を設定します。

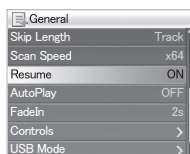
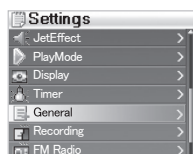
● [OFF]を選択すると、iAUDIOの電源は自動でオフになりません。(非再生時)

7. General

1. Skip Length

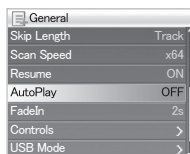
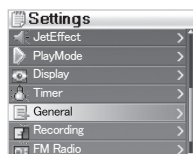
● ◀◀、▶▶ ボタンを短く押した際に、前/後の曲にスキップするか、曲中で設定した秒数をスキップし再生するかを設定します。

● [Track]を選択すると、次の曲にスキップします。秒数で設定すると、設定された秒数分だけスキップします

2. Scan Speed

● ◀◀、▶▶ ボタンを押した際に、早送り/巻き戻しされる速度を設定します。

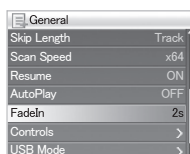
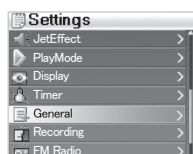
● 速度が倍化されるほど、早送り/巻き戻しが速くなります。

3. Resume

● 最後に再生された曲/動画の終了位置を記憶します。

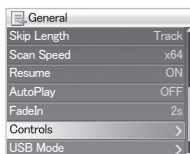
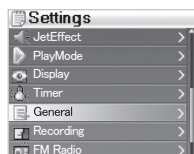
● 自動再生が設定されたら、最後に再生された曲/動画の終了位置から自動的に再生されます。

4. AutoPlay

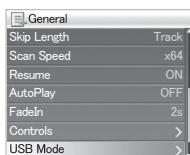
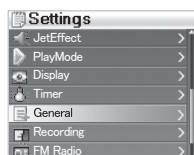
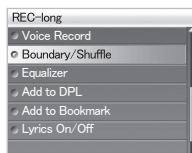
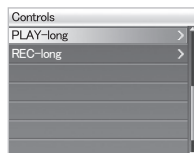
● iAUDIOの電源を入れると、自動的に再生を始めます。

● 自動再生機能を[ON]に設定した場合、前回終了させた曲の最初から再生されます。

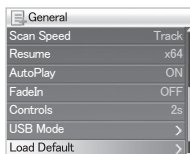
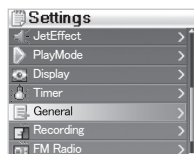
● レジューム機能を設定した場合、前回曲を終了させた位置から再生されます。

5. FadeIn

● 再生した際に、徐々に音量が上がります。

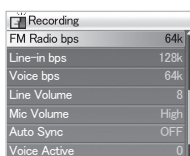
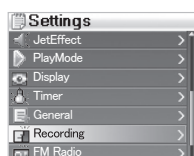
● 音量を上げる時間を設定できます。

6. Controls

● ユーザーは[PLAY]ボタンや[REC]ボタンの長押し機能に対しJetEffect、Voice Record、Boundary/Shuffle、Ealizer、Add to DPL、Add to Bookmark、Lyrics On/Off のいずれかを設定することができます。

7. USB Mode

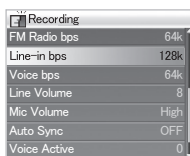
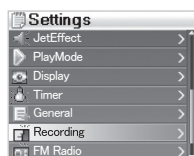
● PC (charge)とHub (no charge)オプション間で選択できます。

● PC (charge)を選択して電源をオフにすると、USBポートによる充電がサポートされます。

8. Load Default

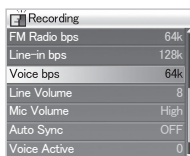
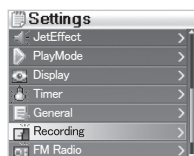
● 工場出荷時の設定に戻せます。

8. Recording

1. FM Radio bps

● FMラジオで録音する音質の設定ができます。同時にFMタイマー録音の音質も設定されます。

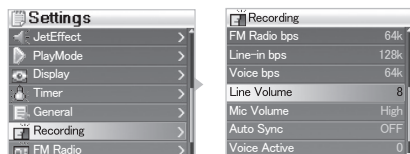
● Kbpsが高ければ高いほど音質は向上しますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。

2. Line-in bps

● ダイレクトエンコーディングで録音するファイルの音質が設定できます。

● Kbpsが高ければ高いほど音質は向上しますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。

3. Voice bps

● 内蔵のマイクで録音するファイルの音質が設定できます。

● 内蔵のマイクから録音したファイルはモノラルです。

● Kbpsが高ければ高いほど音質は向上しますが、ファイルサイズも比例して大きくなります。

4. Line Volume

● ダイレクトエンコーディング端子からの入力信号の音量レベルを設定できます。

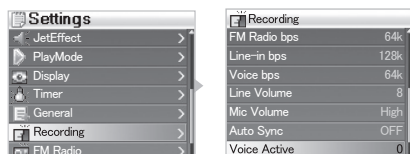
● 値が高いほど、音量レベルが上がります。

5. Mic Volume

● 内蔵マイクの音量レベルが設定されます。

6. Auto Sync

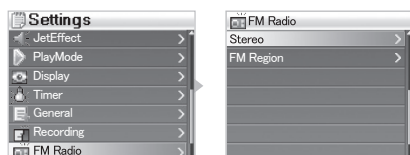
● ライン入力端子から入力される無音部分を認識して、トラックを分割します。

● 数字が大きいほど無音部分の間隔の認識が長い設定となります。この数字は秒数ではありません。

7. Voice Active

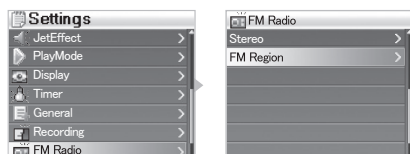
● 音声がない場合に録音を自動的に一時停止し、音声が入力されると、再度録音を開始するためメモリーを節約できます。

● 0~10の値が示され、数値が低いほど音声感度は高くなります。

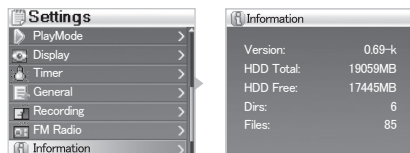
● 重要なものを録音する場合には、必ず0に設定してください。

9. FM Radio

1. Streo

● FMを聞く際の、ステレオまたはモノラルを選択できます。

● 放送局がモノラル放送のみをサポートしている場合は、ステレオに設定してもモノラルでの放送となります。

2. FM Region

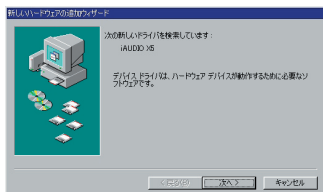
● FMラジオの国別周波数が設定できます。
日本国内で受信できるよう[Japan]に設定してください。

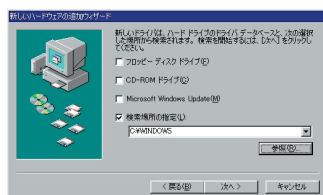
10. Information

- Version : 現在のファームウェアのバージョンを示します。
- HDD Total : ハードディスクの総容量を示します。
- HDD Free : ハードディスクの残りの容量を示します。
- Dirs : システムディレクトリを除くディレクトリの総数を示します。
- Files : 録音したファイルを除くファイルの総数を示します。

1. デバイスドライバのインストール

Windows 98、および98 SEで、PCにiAUDIOを接続する場合、別途ドライバをインストールする必要があります。

■ ドライバのインストール

1. USBケーブルを使用してiAUDIOをPCに接続してください。
   詳しくはP11の「PCへの接続」を参照してください。

2. ［新規ハードウェアの追加ウィザード］ウィンドウが表示されます。
   ［次へ］をクリックします。

3. 「デバイス用最適ドライバの検索」をチェックして、
   ［次へ］をクリックします。

4. 「場所の指定」をチェックして、［参照］をクリックします。

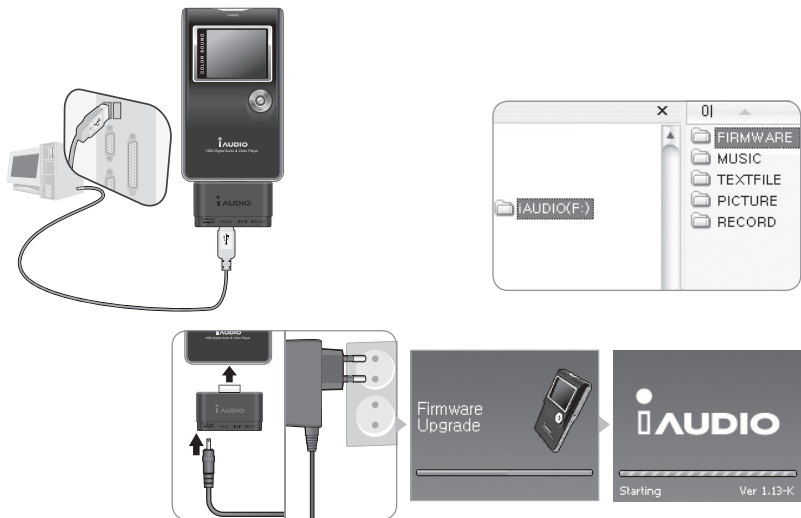
5. CD-ROMドライブから「Win98」フォルダを選択して、[OK]をクリックします。

6. [次へ]をクリックします。

7. [完了]をクリックすると、ドライバのインストールは完了します。

2. ファームウェアのアップグレード

ファームウェアは、iAUDIOを動かすためのプログラムです。
ファームウェアをアップグレードすることにより、最新の機能を利用することができます。

■ ファームウェアのアップグレード

1. USBケーブルを使用してiAUDIOをPCに接続します。詳しくはP11の「PCへの接続」を参照してください。
2. iAUDIO日本語サイト(www.cowonjapan.com)から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。
   ※ 詳しいダウンロード方法は、iAUDIO日本語サイトで公開してますのでご確認ください。
3. ダウンロードしたファイルを実行し、出来上がったファームウェアをiAUDIO X5の「FIRMWARE」フォルダにコピーします。
4. iAUDIOをPCから取り外し、ACアダプタを接続します。
5. ACアダプタを接続すると、電源がオンになり、ファームウェアが自動的にアップグレードされます。
6. ファームウェアのアップグレードが完了すると、プログラム実行画面に変わります。最初の画面からファームウェアのバージョンを確認できます。

※ ACアダプタを取り外さないでください。ファームウェアのアップグレードを完了する前に、電源をオフにしないでください。

※ iAUDIOに保存されたデータは、ファームウェアをアップグレードすると削除されるので、お使いのPC上でバックアップファイルを作成してください。

3. CD上のプログラムのサポート情報

iAUDIOのインストールCDには、マルチメディア統合再生プログラムであるJetAudioが搭載されています。
JetShellはiAUDIOの管理プログラムです。(Windows 98、98SEのドライバファイルも用意されています。)
アプリケーションの詳細なユーザーガイドは、該当のフォルダに用意されていますので参照してください。
※ 実際のCDフォルダは図とは少し異なります。

<table>
<tr><th>症状</th><th>手順</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">iAUDIOの電源がオンになりません。</td><td>アダプタを接続しても、同じ問題が発生するかどうかチェックしてください。</td><td>内部バッテリが完全に切れている場合は、アダプタで再充電してください。放電状態により、アダプタを接続しても電源が入るまで10秒かかることがあります。</td></tr>
<tr><td>iAUDIOがまったく反応しません。</td><td>リセットを押してください。(* リセットはデバイス自体に影響を与えずに、電源を切ります。)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音がまったく聞こえません。ノイズがあります。</td><td>ハードディスクにAVファイルが保存されているかどうかチェックしてください。</td><td>ファイルが保存されていないと、iAUDIOが作動しません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモコン、またはイヤホンがデバイスに接続されているかどうかチェックしてください。また、ポートが何か異物で覆われていないかどうかチェックしてください。(異物がデバイスを汚染すると、ノイズが発生します。)オーディオファイルがダメージを受けると、ノイズが発生し、音声が途切れます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">FMラジオが動作しません。</td><td colspan="2">FMラジオの受信状態は建物内部、地下鉄、移動車内では良くありません。無線の影響を受けるエリアではFMラジオは聞けません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">FMラジオがFMラジオ局が入るエリアで作動しない場合は、受信モジュールの問題が考えられます。その場合は、iAUDIOコールセンターに連絡していただき、デバイスの点検を依頼してください。</td></tr>
<tr><td>液晶ディスプレイの文字がすべて文字化けします。</td><td colspan="2">Country/Languageメニューで英語に設定するか、[ID3 tagコントロール]メニューで[File Name]メニューを使用してください。ただし、iAUDIOデバイスのすべてに同じ問題があり、デバイスがハングル(韓国語のアルファベット)に基づいて開発されている場合は、特定のフォント/言語がこわれることがあります。</td></tr>
<tr><td>コンピュータがデバイスを認識しません。</td><td colspan="2">デバイスがUSBケーブルにより接続されている場合は、電源をオンにしてください。Windows 2000/XP以外のWindows OSにより作動しているiAUDIOには、ドライバを別々にインストールする必要があります。.</td></tr>
<tr><td>JetShellがデバイスを認識せず、「iAUDIOがありません」というメッセージが表示されています。</td><td colspan="2">デバイスをコンピュータに接続し、デバイスが認識されているかどうかをWindowsエクスプローラでチェックしてください。次に、JetShellを実行してください。
詳しくはP38の「デバイスドライバのインストール」を参照してください。</td></tr>
<tr><td>ハードディスク容量が、少なく表示/使用されます。(例:20GBに対して18.6GBが表示/使用されます。)</td><td colspan="2">例えば、FAT 32にフォーマット後に、20GBが18.6GBとして表示されても問題はありません。iAUDIOのハードディスクはシステムファイルとして使用されるスペースを共有します。従って、iAUDIOを動作させるためのシステムファイルがある場合は、実際に表示されるハードディスク容量は、その分少なくなります。</td></tr>
<tr><td>何百ものファイルをルートフォルダに保存すると、iAUDIOは作動しないか、不具合を発生します。</td><td>iAUDIOではFAT32が使用されています。FAT32には制限があるため、ルートフォルダにはファイルを過剰に保存しないでください。</td><td>Windows 98の場合、制限が多くなります。Windows 2000、およびWindows XPの場合にも、サブフォルダを作成して使用することをお勧めします。</td></tr>
</table>

保証規定

本製品の無償保証期間はご購入日から1年間です。お客様の正常な使用状態のもとで万一故障した場合、本保証規定に従い故障箇所の修理をさせていただきますので、購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポートセンター宛までご連絡ください。尚、保証期間内においても下記の場合は有償修理となりますのでご注意ください。 また、弊社の保証は日本国内で使用された場合のみ有効です。

1. ユーザー登録されていない場合、またはユーザー登録の記入内容と保証書の内容が一致しない場合
2. 保証書の掲示がない場合
3. 保証書に購入販売店の記名および押印がされていない場合
4. 保証書の所定事項に未記入箇所がある場合
5. 保証書を弊社および、購入販売店の了承を得ることなく訂正した場合
6.お客様による輸送・移動・設置時の落下・衝撃等、お取り扱いが適正でないために生じた事故・損傷の場合
7. 落雷・火災・地震・水害等の天変地異および、異常電圧による故障・損差悪の場合
8. 本製品に接続している機器が原因で発生した故障・損傷の場合
9. 本製品同梱のマニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じ た故障の場合
10. 異常過電圧、お客様による改造等で生じた故障・損傷の場合
11. ファームウェア更新の失敗等による故障の場合

【責任の範囲について】
本製品の故障および不具合による接続機器の故障・システムデータの消失・遺失利益・その他のあらゆる損害等について、弊社はその責任を一切負いません。 これらは使用者の責任においてご使用することとします。また、故障品・不具合品の返送にあったって、製品が使用できない期間、及びそれらに関する人件費、再セットアップ費等の補償についても、弊社はその責任を一切負いません。 ご了承ください。

【修理対応についてのご注意】
1. 製品が故障した場合は、必ず購入された販売店に保証書を添えてお申し込みくださるか、弊社サポートセンター宛に必ず「事前連絡の上」ご返送ください。
2. 修理依頼品を返送される際に保証期間内であることを確認するために、保証書や領収書のコピーの同封をお願いします。
3. 製品が故障した場合に弊社技術サポート部に返送または修理中、いかなる場合においても代替品はお送りいたしません。
4. 製品返送の際、特に弊社より指定がない場合は全ての付属品を同梱の上、輸送中製品がダメージを受けないように、必ず箱などにきちんと梱包してご返送ください。 尚、適切な梱包がされていない製品を返送されますと、場合により受け取りを拒否する場合がございますのでご注意ください。

※ 弊社の保証は日本国内においてのみ有効です
This Warranty is valid only in Japan.

株式会社　コウォンジャパン サポートセンター
住所：〒113-0033東京都文京区本郷3-2-3TIKビル5階
サポートセンター：03-5805-6054(土日、
祝祭日を除く10：00~12：00、13：00~17：00）
ホームページ：www.cowonjapan.com